

奈良、**なら**ではの“看護”



患者さまの「生きたい」に寄り添い、
「生きるチカラ」を支える

看護職員 募集案内



独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization

奈良医療センター

奈良医療センターの理念

私たちは

質の高い医療を提供し、地域の皆様の健康を支援することにより、
信頼される病院作りを目指します。

1. 正確な情報に基づいて、十分な説明を行い納得していただける医療の提供に努めます。
2. 安心して、受けていただける医療の安全対策の推進に努めます。
3. 患者様の視点に立って常に意識を改革して医療サービスの提供に努めます。

看護部の理念

私たちは

患者さまに満足していただける看護を目指します。

- ・患者さまの人権を尊重した看護を実施します。
- ・患者さまに安心していただける正確な知識・技術に基づく看護を実施します。
- ・医療ニーズに適した看護が提供できるように常に自己研鑽し専門性を高めます。



奈良医療センターが担う 政策医療 及び 役割

国立病院が担うべきミッション「政策医療」の看護を実践しています。神経性難病・てんかん・重症心身障がい児（者）、結核などを担いながら機能的脳神経外科や、消化器科、整形外科などの急性期医療にも対応し、地域に密着した医療の提供に努めています。

パーキンソン病や脊髄小脳変性症といった脳神経の難病や、筋ジストロフィーといった筋肉の難病を専門的に診療しています。脳や脊髄を電気や薬で刺激したり、あるいは一部を破砕して、様々な神経の病気や症状を改善するための手術を行っています。

神経・筋疾患

呼吸器疾患 (結核を含む)

奈良県における結核の拠点病院として、積極的に診療を行っています。また、結核が疑われる症例についても多くの紹介を受け入れています。また、慢性呼吸器疾患に対する多職種による包括的呼吸リハビリテーションにも積極的に取り組んでいます。

重症心身障害医療においては、多職種が、患者さんとその家族の生活を支え、豊かにするために、様々な専門的な関わりをしています。外来通院のほか、長期入所・短期入所・デイサービス等、幅広く行っております。

重症 心身障害

てんかん センター

奈良県におけるてんかんに関わる診療科が連携して包括的かつ円滑な診療や奈良県内のてんかんの教育・研究を行っています。

Message

メッセージ

看護部長 安達 ひとみ



奈良医療センターは、呼吸器疾患と神経疾患を中心とした、奈良県が目指す「面倒見のいい病院」として、地域に根ざした歴史ある病院です。

その中で、看護部は、看護を必要としている人々に対し、個人の尊厳と人権を尊重し、専門的知識と技術を用い、「その人らしく生きる力」を引き出しながら可能性を広げる看護を目指しています。また、信頼される看護を提供するには、働く仲間同士のチームワーク、思いやりが大切であり、人としての豊かな人間性を養うことが、技術以上に必要であると考えます。

✨当院の看護職員一人ひとりが大切な人財です。✨

安心・安全で良質な専門性に基づく看護を提供するために、学び続ける自律した看護師を育成すること、そして、お互いを尊重し個々の力を引き出しながら協働し、のびのびと看護ができる、働き続けられる環境づくりに取り組んでいます。

病棟紹介

毎日楽しい生活ができるように、
個々に合わせた看護をしています。

● 1A・1B 病棟 (重症心身障がい児・者病棟)

1A 病床数：50 床

重症心身障がい(児)者病棟として、日常生活支援や医療ケアの必要な患者さんの看護を、療育指導室など多職種と連携を図りながら行っています。また在宅支援の一環として短期入所事業にも力を入れています。

1B 病床数：50 床

重症心身障がい(児)者病棟として、治療を安全にうけていただけるだけでなく生活の場として快適に過ごしていただけるように、多職種で連携を図りながら行っています。



● 2A 病棟 脳神経内科 (神経筋難病)・脳外科病棟

病床数：50 床

神経・筋難病患者さんが多く入院されている病棟です。身体機能が徐々に低下していく患者さんやそれを支える方々の思いに寄り添い、一人ひとりにあった看護が提供できるように多職種と協働し看護を提供しています。



患者さんの生きたいを支える看護を大切にしています。

● 2B 病棟 脳神経内科・筋ジストロフィー

病床数：50 床

筋ジストロフィー患者さんを主として、神経・筋難病患者さんが多く入院されている病棟です。残された身体機能を活かして患者さん自身がその人らしく生活できるよう日々の小さな変化に対応し、安全安楽な看護を提供しています。

● 外来

当院が掲げる地域に根差した面倒見の良い病院の顔として、緊張と不安を抱え受診された患者さんやご家族へ少しでも安心して受診していただけるよう「いつも笑顔で！」を合言葉に診療支援をしています。入院支援センターも開設し PFM にも力を入れています。

★診療科 呼吸器内科・内科、脳神経内科、消化器内科、小児神経科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、泌尿器科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、ペインクリニック外科、循環器内科、腎臓内科 (全 24 診療科)

★特殊専門外来 てんかんセンター、もの忘れ外来、小児神経外来、機能的脳神経外科、不随意運動疾患センター、褥瘡外来、骨粗鬆症外来、睡眠時無呼吸外来



さくら病棟

3F

3A 病棟：50 床

脳神経外科・整形外科・外科・内科・耳鼻いんこう科・小児神経科

2F

2A 病棟：50 床

脳神経内科・内科・呼吸器内科

2B 病棟：50 床

筋ジストロフィー・脳神経内科

1F

1A 病棟：50 床

重症心身障がい(児)者

1B 病棟：50 床

重症心身障がい(児)者

南病棟

南病棟：60 床 (結核 30 床)

● 3A 病棟 脳神経外科・内科・呼吸器内科・ 整形外科・消化器内科

病床数 50 床

緊急入院や手術、短期検査入院を受ける一般病棟として脳神経外科・内科、呼吸器内科、整形外科、消化器内科など多くの診療科を受け入れています。多岐に渡る疾患を抱える患者さんに対する看護を安全・安楽に行えるように多職種と一丸となってケアを提供しています。



● 南病棟 呼吸器内科・結核①

病床数 60 床 (結核：30 床)

結核と新型コロナウイルス感染症患者さんを受け入れている病棟です。ユニットを2つに分けて陰圧空調システムによる感染予防管理を行っています。感染症で入院される患者さんやご家族の不安に寄り添い状況に合わせた看護が提供できるように多職種で支援しています。



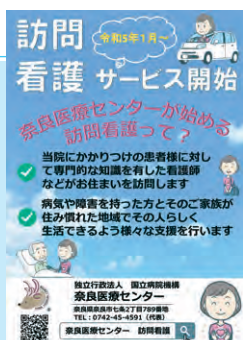
● 手術室

当院では患者さんの動きを改善したり、痛みを軽減する機能的手術を行っており、県外からも多くの患者さんが手術を受けに来られます。

これらの手術は患者さんが覚醒した状態で行うため、患者さんの不安に寄り添い、苦痛を軽減するケアをこころがけています。

訪問看護事業

かかりつけの患者さんに対して専門的な知識を有した看護師などがお住まいを訪問します。病気や障害を持った方とそのご家族がすみ慣れた地域でその人らしく生活できるよう様々な支援を行います。



入院支援センターを開設！

入院を予定している患者さんにご家族が安心して入院生活が送れるように、入院前から支援します。また、病棟での退院前カンファレンスに参加したり退院前訪問へ行ったり、病棟と外来で連携を図り、切れ目ない医療を提供できるように支援します。



チーム医療・活躍するスペシャリスト達



摂食・嚥下障害看護 認定看護師



NST・摂食嚥下チーム

多職種と共に評価・検討し、食形態の工夫、体位の調整など安全に口から食べることができるように取り組んでいます。



皮膚排泄ケア 認定看護師
特定行為看護師



褥瘡対策チーム

院内褥瘡保有患者の評価・治療方針・栄養管理・ポジショニング・薬剤調整などを多職種で検討しています。



特定行為看護師



慢性呼吸器疾患看護 認定看護師

RST（呼吸ケアチーム）

人工呼吸器装着患者や気管チューブが挿入されている患者に対する適切な呼吸ケア方法の提案をしています。

より質の高い看護の提供を目指して、
それぞれの分野で活躍しています。

感染制御チーム

院内感染防止マニュアルに沿った各種対策の実施状況の確認や指導を行っています。



感染管理 認定看護師



緩和ケアチーム

身体的苦痛、精神的・スピリチュアルな苦痛を抱えた患者さまやご家族に寄り添い、その苦痛が少しでも軽減できるよう活動しています。



緩和ケア 認定看護師

認知症ケアチーム

患者さんがどんな事に困っているのか、どんな環境であれば安心して療養できるのかを探りながら、それぞれの疾患の特徴や個性を踏まえ、行動心理症状の予防・改善を目標に日々取り組んでいます。



認知症看護 認定看護師



教育体制

感じながら、考えながら、適切な看護判断ができ、安全で正確な看護実践ができる看護師を育成します。

「新人看護師をスタッフみんなで支えよう」と屋根瓦方式の教育体制を整えています。不安や悩み事はプリセプターがかかわり、看護技術や業務の指導は集合研修と連動しながら先輩看護師がOJTを通し、サポートしていきます。

また、しばらく看護職を離れていて復職した方や中途採用の方にも、相談役のスタッフを置きサポートします。

■ キャリアラダー



レベルⅤ

- 看護倫理・ナラティブ研修
- リフレクション研修 ● 院内留学

レベルⅣ

- 問題解決技法研修（業務改善） ● 後輩指導 ● リーダーシップ研修
- 在宅看護研修（訪問看護ステーション実習）
- 経営的視点研修（診療報酬研修）

レベルⅢ

- 看護研究研修 ● リーダーシップ・メンバーシップ研修
- 院内留学

レベルⅡ

- ケーススタディー ● 看護倫理研修 ● KYT研修
- フィジカルアセスメント研修 ● プリセプター研修

レベルⅠ

- 新採用者オリエンテーション ● 看護技術研修 ● 看護倫理研修
- フィジカルアセスメント研修 ● リフレッシュ研修（薬師寺体験）



先輩の声

Voice



ママさん看護師 1B病棟

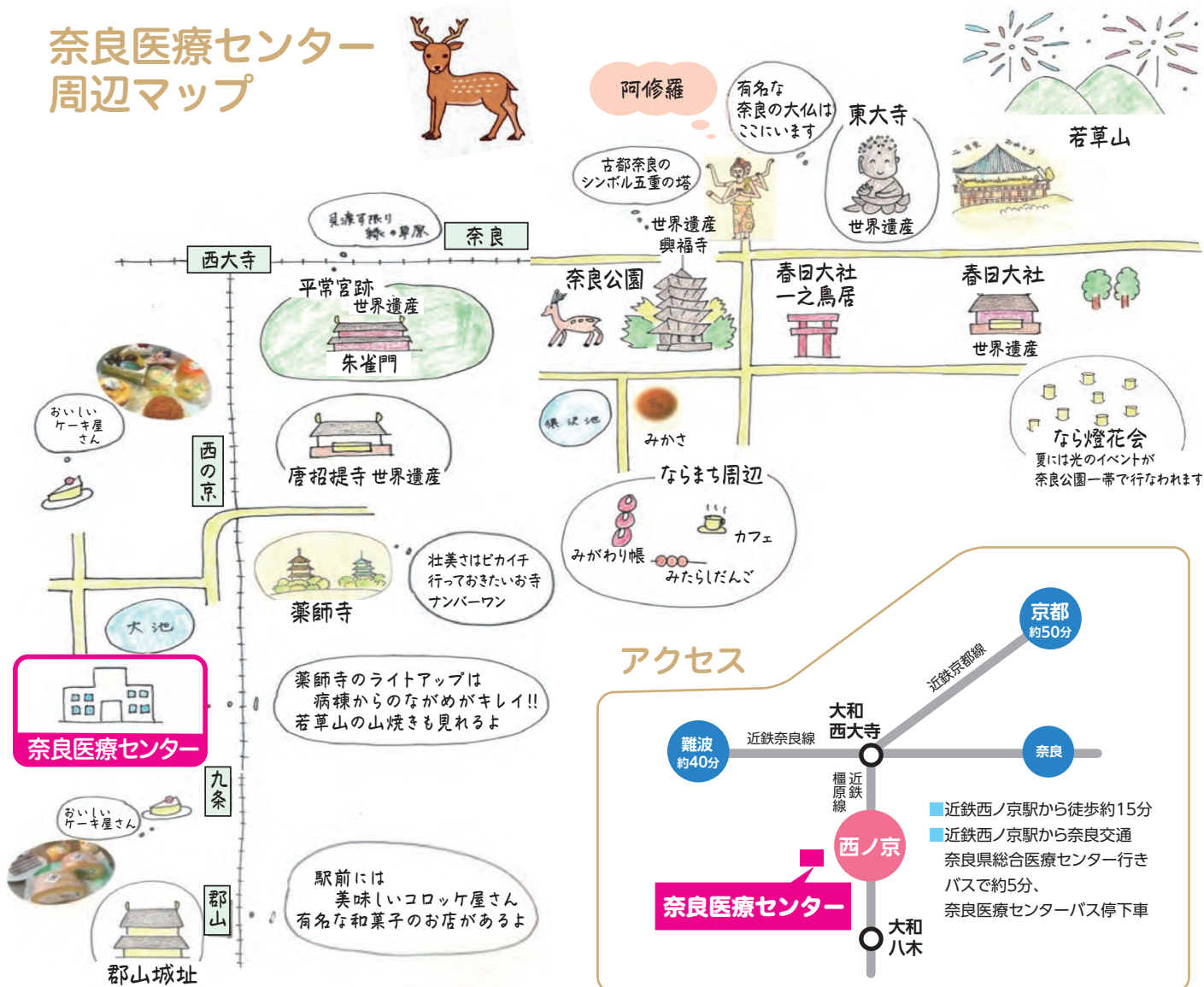
二人の子供を育てており、家事や子供の習い事の送迎など、帰宅後も盛りだくさんですが家事は頑張りすぎずに夫と協力して行っています。子供が急な体調不良で急に休まないといけない時もありますが病棟でのフォローもあり、周りからの気遣いをありがたく思いながら仕事を続けています。

入職3年目 南 病棟

入職してからあっという間に時がたち、今年で3年目になりました。初めころは病棟や仕事に慣れるまで時間がかかりましたが、できることが増えるにつれて患者さんへの看護に自信が持てるようになってきました。自分で考えながら、また先輩に相談しながら楽しく看護ができています。後輩もできこれからはより一層気を引き締めて頑張りたいと思います。



奈良医療センター 周辺マップ



独立行政法人 国立病院機構

奈良医療センター

〒630-8053 奈良県奈良市七条2丁目789番地

TEL.0742-45-4591 FAX.0742-48-3512

<https://nara.hosp.go.jp/cp-bin/phpformmail/form.html>

MAIL : 416-info@mail.hosp.go.jp